

請 願 文 書 表

受 理 番 号	請 願 第 4 号	
件 名	自然エネルギーの開発と普及，プログラムを決めた原発からの撤退を求める意見書の提出について	
紹 介 議 員	風間ルミ子，小泉仲之	
要 旨	<p>去る3月11日に発生した東日本大震災によって福島第一原発が重大な事故を起こしてから半年近くになりますが，事態はいまだ収束のめどが立っていないとともに，放射性物質による被害が続いています。また，原発周辺で生活する10万人以上の住民が避難を余儀なくされ，農水産物の生産や出荷など地域経済に重大な被害を与えています。</p> <p>世界では既に，原発から太陽光を初め風力，波力，バイオマスなど自然エネルギーへの転換が図られていますが，日本のエネルギー政策は大きく立ちおくらせています。原発事故から国民の命と暮らしを守り，未来に向かって希望が持てる国にしていくために，政府は自然エネルギーの開発を進め，プログラムを決めて原発から撤退するべきです。</p> <p>世界有数の地震国日本は，原発の立地条件が悪く，また原発技術は未完成で危険であり，放射性廃棄物の処理方法が確立していないなど問題点が多いため，政府は現状を厳粛に受けとめ原発から撤退を決断し，自然エネルギーの開発と普及，促進，低エネルギー社会への移行に全力を挙げよう求めます。</p> <p>については，貴議会において，下記の事項を内容とした意見書を国に提出して下さるよう要望いたします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 国民の命と暮らしを守るために，政府は自然エネルギーの開発を進め，原発から撤退するプログラムを策定すること。</p> <p>1 太陽光，小水力，風力，木質バイオマスなど自然エネルギーの本格的導入，自然エネルギーの開発と普及を積極的に進めること。</p>	
付 託 年月日 委員会	平成24年5月18日 (平成23年9月14日)	文教経済常任委員会 総務常任委員会)
受 理	平成23年9月6日	第269号